

畜産業に従事する皆様の熱中症対策

2026年夏は平年を上回る猛暑・酷暑が予想され、長時間の高温環境が続くことが想定されます。畜産現場では水分補給・作業時間調整・換気徹底などで熱中症を防ぎましょう。



つばの広い帽子をかぶる



こまめに水分
を補給する



暑い時期の
作業をさける



畜舎、作業場所の
換気を適切に行う

裏面農林水産省資料（農作業中の熱中症予防）も参考としてください

もっと
知りたい!!

熱中症対策

* 熱中症対策アイテム * *

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、
ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際
のリスクを回避したいときに
活躍



ウェアラブル端末、
応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩
の質を高めたいときに活躍



ミストファン

* 熱中症が疑われる場合には * *

01 作業を中断



(代表的な症状)

- 汗をかかない、体が熱い
- めまい、吐き気、頭痛
- 倦怠感、判断力低下

02 応急処置



- 涼しい環境へ避難
- 衣服をゆるめ体を冷やす
- 水分・塩分を補給

03 病院へ



応急処置をしても症状が改善
しない場合は医療機関で診療
を受けましょう!!

“熱中症等対策として声かけを！”

キャッチフレーズ:いのちをうばう、夏のひとり作業



農作業中の熱中症死亡事故の
多くは1人作業で発生しています。

大切な人の命を守るため、
家族や地域で声をかけあいましょう！